

「安心と誇りが仕事の活力」

SHIMA-KEN-BULLETIN

# 島建会報

発行：(社)島根県建設業協会

松江市西嫁島1丁目3番17-101号 TEL 0852(21)9004 FAX 0852(31)2166

制作協力：建設興業タイムス社

**② 新分野に挑む！ ～建設業新分野進出事例の紹介**  
 (株)中村工務所 「奥出雲唐辛子」など食品加工施設を増設  
 石見銀山建設(株) 手づくり銀細工店とカフェを開店

**④ 中小建設業の将来ビジョンを**  
 建協ブロック会議

**⑥ 雇用改善だより**  
 私たちの主張 ～未来を創造する建設業～

**⑨ 活動だより**

建協各支部 一口蹄疫発生に備え演習  
 松江支部 一成績評定や安全管理研修  
 TS出来形管理を研修  
 出雲支部 一経営研修会開く  
 安来支部 一鳥インフル処分活動に出動  
 邑智支部 一創意工夫で勝ち残りを  
 地元きれいな川を  
 青年部会・出雲支部青年部会  
 一官民連携(PPP)活用を  
 建災防県支部 一安全管理のレベルアップを図る  
 職長、安責者を再教育  
 建災防安来 一ゼロ災運動展開  
 建災防雲南 一足場組立て技術学ぶ

安来市で発生した鳥インフルエンザで  
国や県に協力して行った処分作業



2010 秋



# (株)中村工務所 (奥出雲町下横田)

## 「奥出雲唐辛子」<sup>な</sup>と食品加工施設を増設

中村工務所(奥出雲町下横田、中村勝好社長)は、「奥出雲唐辛子」などの加工施設を増設。トウガラシを中心に、7種の薬味を詰め合わせた「七福神」や「練りトウガラシ」など商品化し、2次製品の開発・販売へのシフトを進める。

04年に国営農地を活用して農業参入。07年、「奥出雲唐辛子」を商品化した。翌年、新宿伊勢丹で開かれた「いいもの&ローカルブランドコレクション2008」や、ビッグサイトで開催された「ナチュラルEXPO2008」に出展すると、「鮮やかな赤と鮮烈な香り、まろやかな辛み」との好評を博し、首都圏のバイヤーから引き合いが来るようになった。柴田晶夫常務は、「迷いながらの製品に自信がもてたし、以前から抱えていた『寒暖差が美味しいものを育てる』との考えに自信を深めた」と振り返る。

寒暖差の大きい気候に育まれたトウガラシを自然風と天日で乾燥。受注してから粉びきする「今摺」にこだわった「奥出雲唐辛子」は、「メーカーにはできないことを」(柴田常務)と

の言葉通り、高品質を求めるファンの心をつかんだ。「万人ではなく特定の人を対象を絞れば、中山間地の生産力でも“いい勝負”ができる。農業へ参入するなら1年でも早いほうがいい。農業には、1年に1度しかチャンスが与えられないのだから」と話す。



三辛神



七福神



練り七味



自然の風で乾燥させる  
「奥出雲唐辛子」

## 石見銀山建設(株) (大田市鳥井町)

### 手づくり銀細工店とカフェを開店

石見銀山建設(大田市鳥井町、黒田突義社長)は、08-09年の2カ年で、手づくり銀細工店「銀兵衛」とカフェレストラン「カフェ銀山」を、大田市内に相次いでオープンした。

銀細工店は、石見銀山遺跡の世界遺産登録で賑わう大森町の町並みの中に開店。地元の銀細工職人から「型」を譲り受けたことや、同社従業員の知人が所有する空き家があったことで、出店を決意した。

オープン時は客足もまばらだったが、道沿いに商品を並べるなど展示方法など工夫。現在は、2-3000円のペンダントから8000円の小判型まで販売好調で、口コミによる購入も増加。利益計上に至っている。

カフェレストランは、長久町の国道9号沿いにオープン。会社所有の賃貸物件に空きが出た

ため、直営による店舗を企画した。ホールスタッフには地元の人材を採用(身障者者雇用)。市内漁港で採れた魚や島根県産の和牛を提供、野菜等は地元JAから調達する。今後は、メニューや時間帯、看板等を再検討し、11年3月までに黒字転換を目指す。黒田社長は「雇用創出や地元産の食材提供、伝統技術の継承など役割は大いにある」と話す。



④ 空き家を改装して大森の町並みにオープンした銀細工店「銀兵衛」

⑤ アクセサリーなど展示方法を工夫。売り上げアップにつながった。



## 建協ブロック会議

# 戦略的なインフラ整備

国交省が方向性

# 中小建設業の将来ビジョンを



建設業協会中国ブロック協議会（会長・坂本道治岡山県建設業協会会長）の会議が10月19日、山口市内で開かれ、社会資本整備の計画的な推進や地方中小企業の将来像などについて、国交省や各県建設行政の担当者と意見交換した。

冒頭、坂本会長は「地域の安全と雇用を支える建設産業をこれ以上疲弊させてはならない。防災対策など真に必要な社会資本整備が着実に推進されることを強く望む」と、現政権に対し公共事業削減政策からの転換を訴えた。

国土交通省の大森雅夫建設流通政策審議官、

福田功中国地方整備局長があいさつ。大森審議官は、補正予算の一つの柱に社会資本整備が盛り込まれたことを評価。「元・下請関係▷入札契約制度改革▷金融支援▷人材確保一の4点を重点施策に位置付け、真に優れた建設企業が生き残れるような市場環境の整備を進める。業界の生の声を聞き今後の施策に反映したい」と述べた。福田局長は、昨年の山口県防府市、今年7月の広島県庄原市で発生した豪雨災害における地元建設企業の応急活動に敬意を表すとともに、地域建設業の受注機会確保や経営支援への取り組みを説明した。

また、浅沼健一全国建設業協会会長があいさつの中で民主党政権に対し骨太の日本国の将来像

を、国土交通省には具体性のある社会資本整備のビジョンを提示するよう要請。一方で、「全建としても、社会資本整備の重要性を国民に正しく理解してもらえるよう情報発信に努める。会員企業自らが地域発展に知恵と汗を流す努力が必要」と抱負を語った。

議事では▷真に必要な社会資本整備と防災・減災対策の計画的な推進▷地方中小建設業者の将来像▷低入札調査基準価格の引き上げ▷地元本店業者への優先発注▷建築工事の設計数量一を議題に意見を交わした。

国交省は、11年度予算で安全・安心の分野を重点に4兆8000億円余を要求。このうち元気な日本復活特別枠が11%（5400億円）を占める。特別枠には政府全体で3兆円弱の要望が予想され、優先順位付で1兆円規模程度に絞り込まれるとの見方を示した。

地方中小建設業者の将来像については、防災面や社会資本の既存ストックの維持管理など重要な役割が期待されるとし、耐震、エコ、リフォームの成長分野での市場開拓を提案。国民の生命・財産を守り、自立的な地域社会をつくるためのインフラ整備については「計画的かつ戦略的に進めていく」との方向性を示し、理解

を求めた。

ダンピング受注に対しては、09年4月に調査基準価格の見直し（引き上げ改定）を実施。引き続き、落札率と工事成績の傾向を把握し、施工体制確認型総合評価の拡充、低入札重点調査等対策強化に取り組むとした。地方公共団体に対しても国と同等の見直しと、予定価格の事後公表を要請した。

地元本店業者への優先発注について国交省は、支店または営業所の資格で入札に参加し落札した場合その営業状況を厳格に確認すること、県内本店を条件に地域性をより重視した参加資格の設定、下請企業の地域貢献度を評価する地元企業活用審査型総合評価方式の試行など取り組みを説明。本年度からは民間企業の技術力による競争を促進させるため、難易度の低い工事の入札参加資格要件は過去の実績（工事量）にとらわれず、技術評価における施工能力の評価に限定。簡易型総合評価方式の約9割を占める一ことなど直轄工事における地元企業への優先発注を報告。「入札参加要件については広く参加企業を求める一方で、総合評価方式の中で技術提案、施工能力、地域への貢献をバランス良く評価する」との認識を示した。

# 不正ガハハ

に関する情報をお寄せください!!

こんなときには、すぐお電話ください!

- ◎ ガソリンに何かを混ぜて販売している噂を聞いた
- ◎ ガソリンを給油してから、車の調子がおかしい
  - (例) ・エンジンがかかりにくくなった
  - ・走行中、ノッキングするようになった
  - ・加速性や燃費が悪くなった
  - ・排気ガスの色やニオイがおかしくなった
- ◎ ガソリンの給油時に、変なニオイがした

「不正ガソリン」とは、正規のガソリンにガソリン以外のもの（灯油など）を混ぜたもので、車に悪影響を及ぼすばかりでなく、揮発油税の脱税行為になる恐れがあります。



広島国税局「不正ガソリン110番」は、



「0120-283-110」です!



広島国税局 消費税課



国土交通省及び建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

## メッセージコンクール 私たちの主張 ～未来を創造する建設業～

総合政策局長賞

### つな 「継げることの意味」

柴木建設株式会社（隠岐の島町） 柴木 一二子さん

いつの頃からだろうか、この仕事に息子が就く事を熱く思う気持ちが失せたのは。

そんな私の気持ちに反して、息子が選んだ道は工学部だった。私の夫は建築士で土木技師でもあり、建設業を営んでいる。そんな姿に幼い頃からあまり興味を示さず歩んでいたのに「何故？」と、不思議な思いだった。

息子は子供の頃、公共工事があまり良くないイメージで語られることを耳にした時、夫に「お父さんの仕事は悪いこと？」と、尋ねたことがあった。その時夫は、自分が手がけた河川工事の現場に息子を連れて行き、この川は何度となく氾濫し、その度に付近の住民は田畑や家屋が水害にあい大変な思いをしたこと、また、この川にはホタルなどの水辺の生き物が沢山いることなどを話したのだそうだ。そして、人間と生き物のどちらも共に生きていける方法をと考えて作った「多自然型工法」のことを説明し、人間の大切な命や財産を守りながら、自然の生き物もそこで暮らせる方法の工事があること、そして開発が一方的に悪いことばかりではないことを、息子に分かるように語りかけてくれたそうだ。この時のことがとても印象に残っていると息子は私に話してくれた。父親のもの作りに対する思いは、しっかりと息子に伝わっていたと初めて知った瞬間だった。また、夫は社長としてもきれいな仕事にとことんこだわりを持っていたので、利益を忘れて良い施工を社員に求めていた。「何年経っても自分の作ったものには責任を持たないと」と夫は頑なだった。

ある年、超大型台風が上陸し、尋常でない雨量があちらこちらで大災害をもたらしたことがあった。ちょうどその頃、私達の会社は、完成が近い砂防工事を施工中だった。台風



から一夜明け工事現場に行くと、なんとこの砂防が大量の土砂と水をしっかり堰止め、下流の川が氾濫することも、もちろん家屋が浸水することもなく、この地区を救ってくれていた。例え人には知られずとも、作った社員は一同に感動し、「よくぞ守ってくれた」と皆自慢に思ったのは記憶に新しいことだ。施工前には、こんな所にコンクリートのものを作って何の意味があると言葉する人も住民の中にはいた。建設業のもの作りは、結果が出るまでに時間がかかったり、人の目や耳に届かないことが多いが、私達の生活や生命を守っていることは、まぎれもない事実だと思う。道路工事にしても、まばらな家屋しかない所に道路を作っていると揶揄する人もいる。しかし、人が生きていく上で消防車や救急車が家の前までいける道を作ることは、とても意味のあることで、私達はそんな仕事に携わることに誇りを持って施工している。そんな夫や社員の姿を、私が気がつかないところで見ている息子が選んだ道から、やはり父親から伝わるものがあったのだと、今さらながら知ることができた。

今、地方の建設業界は厳しい状況にあえいでいるが、責任と誇りだけは胸に秘めていたい。社員と会社を守る強い心は、時として折れそうになるけれど、私達建設業が、人を、日本を守っていることを信じ、次の世代へ継(つな)いでいきたいと強く思う。

しかし、継(つな)げていくことは一見簡単そうに見えるが、とても大変なことだと身をもって思う。技術や信頼、そしてセンスはなかなか目に見えず、伝えるのが困難だ。しかし、それらが形や結果として現れると、何とも言えぬ喜びになることも事実だ。

この、「もの作り」を私達は次へ伝える責任がある。今一度、考えてみたい。



## 島根県最低賃金改正のお知らせ

島根県内の事業場に使用されるすべての労働者に適用される島根県最低賃金が次のとおり改正されました。

この金額は、平成22年10月24日以降の賃金から適用されます。

**時間額 642円**

なお、最低賃金には、①臨時に支払われる賃金 ②1ヶ月をこえる期間ごとに支払われる賃金 ③時間外労働・休日労働・深夜労働に対する賃金 ④精皆勤手当 ⑤通勤手当 ⑥家族手当は含みませんので注意してください。

最低賃金については

島根労働局労働基準部賃金室（TEL 0852-31-1158）

または、松江・出雲・浜田・益田の各労働基準監督署にお問い合わせください。

# 適用標識(シール) 掲示を

## この工事の元請事業主は 建退共に参加しています

この現場で働く方で雇用主が建退共に参加している場合  
退職金制度の適用を受けられますので雇用主に確認しましょう  
建退共に未加入の下請事業主は、加入しましょう  
事業主は、退職金共済手帳に証紙を貼りましょう 手帳の更新を忘れずに

独立行政法人 勤労者退職金共済機構

**建退共島根県支部**

電話 0852(21)9004

発注者から工事を受注した場合、現場事務所・工事現場の出入口の見やすい場所に、標識を掲示して下さい。標識は建退共島根県支部にあります。

**建退共島根県支部 0852(21)9004**



# 活動だより



## 建協各支部

### 口蹄疫発生に備え演習

県東部農林振興センターは11月5日、松江市の中央家畜市場で家畜伝染病防疫演習を実施。自治体関係者やJ A、建設業者など約200人が発生時から処分までの手順を確認。参加した建



協各支部の役員らは、真剣な表情で取り組んでいた。

演習は、牛200頭を飼育する松江市内の飼育センターで2頭の疑似患畜が報告されたとの想定で開始。通報、診断、移動制限、埋却など一連の手順を演習した。このうち、建設業者は埋却作業を担当。牛舎横の草地に底幅4m（地表幅6m）・深さ4m・長さ70mの埋却溝2本を掘削。発生から3日間で延べ60人を動員し、殺処分された家畜を重機を使って埋却する手順を確認した。

また、警備会社への応援が要請される移動規制班では、移動・搬出制限がしかれる半径20km以内の主要道路や山陰道で関係車両や一般車両への消毒を実施。2日目から24日目までで、延べ6516人を動員。うち、3128人が警備会社へ応援要請される流れをチェックしていた。

## 松江支部

### 成績評定や安全管理研修

松江支部（金津任紀支部長）は8月23日、松江県土整備事務所の協力で建設事業等研修会を開き、会員事業所の技術者ら170人が参加。工事成績評定要領や総合評価方式のポイント、安全管理について学んだ。

奥野真規技術専門監が、過去2カ年の工事成績の推移を示し、県工事の成績平均点は75.9—



76.4点で全国平均と同程度であることや、施工管理や工程管理など項目ごとの評価傾向と評定

要領改正のポイントなど説明。「施工計画書に基づいた施工管理が良い評価につながる。現場事務所に置いて日々の作業をチェックし見直すこと」と指導した。また、井原喜代司技術専門監は、近年の建設工事における事故発生状況の傾向と具体的な発生事例を交え、安全対策の徹底を要請した。

なお研修に先がけ、09年度完了優良工事の表

彰式が行われ、松江県土整備事務所長表彰9件、高規格道路事務所長表彰4件の施工者代表と主任技術者、知事表彰7件の主任技術者および特別表彰1件の代表者に表彰状を授与。福田滋松江県土整備事務所長が「高い技術力を次世代に継承し、地域の活性化に役立てて下さい」と激励した。

## TS 出来形管理を研修

松江支部と土木施工管理技士会松江支部は10月27日、総合評価時代の情報化施工（TS出来形管理）セミナーを開き、会員企業の技術者35人が参加した。



総合評価における情報化施工対応の技術提案や今後の方向性、TS（トータルステーション）を用いた測量と出来形管理、3次元デジタルデータの作成方法など研修。グラウンドを現場に見立て、TSを用いた路線・横断測量、出来形観測を実習した。

TSを使うと、必要最低限のデータを入力すれば路線の計算、中心杭や幅杭の設置など計算路線内すべての杭打ちが可能なことや、出来形管理も3次元座標で計測、設計値との差（高さ、幅）を管理し、計測値を帳票作成に利用でき業務の効率化が図れることなど、担当者の説明を聞きながら実際の作業を体験。「路線交差部の実測や出来形管理の方法は」「ワンマン測量のTSを導入した場合、人件費との比較は」など熱心に質問していた。

## 出雲支部

### 経営研修会開く

建協出雲支部（中筋豊通支部長）は11月25日、経営関係研修会を開き、会員約70人が参加した。

建設業情報管理センターの三谷善昭分析課長が財務諸表や経審の虚偽申請防止対策について講演。完成工事未収入金と売掛金の区別、工事の進捗状況に応じて完成工事高に繰り入れる

「工事進行基準」の適用など貸借対照表や損益計算書作成の注意点を説明した。





安来で  
鳥インフル発生!

# 処分活動に 安来支部が出動



照明車の明かりの中、  
行われた処分作業＝安  
来市赤江町

部会員からバックホウ  
やブルドーザ、トラッ  
クなどの重機類を調達。  
国交省浜田河川国道事  
務所や県外からも照明  
車が駆けつけ、昼夜を  
問わない懸命な作業に  
より、4日夜には全作

安来市内の養鶏場で発生した鳥インフルエン  
ザで、殺処分が決定したことを受け、建設業協  
会安来支部（渡部義三支部長）は、国や県に協  
力し、懸命な処分活動を行った。

県と建設業協会は今年3月末、防疫業  
務の協定を締結しており、これに基づく  
初の出動となった。主な経緯は、11月29  
日、安来市内の養鶏場から鶏5羽が死ん  
でいると県東部振興センターに届出があ  
り、同日午後10時に、県庁で第1回危機  
連絡会議を開いた。県は感染の確定を待  
たず危機管理対策本部を設  
置。安来市内の養鶏場で飼  
育していた全約2万3300羽  
の殺処分に踏み切った。翌  
30日午前8時30分に、県は  
同安来支部に協力を要請。  
12月1日から、約120人体  
制で赤江町にある処分場に  
設置する焼却炉への道路と  
ヤードの整備、焼却炉3台  
の組み立てなど行った。支

昼夜問わず

懸命な作業

業を終了した。

渡部支部長は「県との協定調印後、委  
員会を立ち上げ、研修に参加し、経験を  
重ねていたことが、今回の速やかな活動  
につながった。反省すべき点は今後整理  
していきたい」。現地対策本部長を務め  
た園山幸雄東部農林振興センター所長は  
「協会の活動で迅速な措置に大きな役割  
を果たしてもらい、大変に感謝している」と話  
している。



昼間も懸命に処分作業は続けられた＝安来市赤江町

## 邑智支部

### 創意工夫で勝ち残りを

邑智支部（福井竜夫支部長）は9月14日、邑智建設会館で「総合評価方式対応セミナー」を開き、会員ら約40人が参加した。

北海道で建設業者へのサポート事業を展開する建設IT職人組合「KREIS」の佐々木実代表を講師に総合評価方式について▷創意工夫▷アイデア▷書類作成で勝ち残るをテーマに、技術提案の仕方や他社に差をつける創意工夫のポイントなど、佐々木氏が実際に手掛けた現場でのアイデア事例を交えて解説した。

佐々木氏は「総合評価方式で勝ち残るには①



②加点されるからやるという体質の改善③ピンチはチャンスで困り事の裏には必ず改善策がある④目的の共有はアイデアの創出につながる一など、目標や目的を明確にして成果が出せる技術力・経営力に優れた会社になることが大切」とアドバイスした。

### 地元にきれいな川を

邑智支部（福井竜夫支部長）は11月15日、地域の美しい川を保全しようと、邑智郡内の主要河川周辺の清掃、草刈りなどボランティア活動を実施した。これは、同支部が08年度から県の河川愛護団体活動として実施しており、今回で3年目となる。

活動は7月末から11月上旬にかけて計5回実施。各地区の協会員らが▷木谷・濁川（川本町）▷尻無川河口付近（美郷町）▷日平川（美郷町）▷宇都井谷川（邑南町宇都井JR宇都井駅一児童館付近）▷濁川（邑南町井原断魚公園付近）一

など邑智郡内旧6町村の河川周辺で、可燃ゴミやビン・空き缶拾い、除草作業や倒木、立木伐採撤去などの作業に汗を流した。



## 青年部会・出雲支部青年部会

### 官民連携（PPP）活用を

青年部会（原論部会長）及び出雲支部青年部会（山口弥部会長）は10月25日、民間資金の積極活用について学ぶ経営研修会を開き、国交省、自治体職員、会員ら約150人が参加した。





国土交通省政務三役政策審議室政務官の小笠原憲一氏を講師に招き、「新たなPPPインフラ整備」と題し講演。政府の新成長戦略（6月18日閣議決定）で、官民連携によるインフラ整備（PPP）が決まったとして、「周辺エリア

も含めた開発物件について、民間からの自由で積極的な発想を求めたい」と話した。

また、建設投資額の減少データを取り上げ、環境や維持管理など成長分野への進出を促した。

## 建災防県支部

### 安全管理のレベルアップを図る

建災防県支部は8月26・27の2日間にわたり、全分会を対象に「職長のためのリスクアセスメント教育」を実施。延べ530人が受講した。全国安全週間および準備月間中に行った特別安全パトロールの結果を踏まえ、元請けの職長や安全管理責任者の再教育が必要と判断し行った。

今年に入り、建設業で3人が死亡、休業4日以上の労災も増加傾向にある。

建災防では、県内全域で37現場（県発注工事）を対象に▷リスクアセスメントの確実な実施▷墜落防止対策の徹底▷ヒューマンエラー防止に向けた安全教育一を重点項目に掲げ、労基署、県土整備事務所と合同で総点検を行った。この結果、RKYや現地KY、送り出し教育、リス

クアセスを取り入れた安全記録（KY、作業手順書）などの取り組みが行われていない現場が多いことが判明。発注者からも、特に小規模工事現場における安全教育の必要性が指摘された。

研修では、建災防の教育用テキストに従い、職長・安全衛生責任者の役割とリスクアセス▷リスクアセスの手順▷作業手順書の作成とリスクアセス▷危険予知活動（現地KY）とリスクアセスの方法一の内容で約6時間、リスクアセスメントの目的や手法等について学び、安全管理のレベルアップを図った。



### 職長、安責者を再教育

建災防県支部は12月3日、再任講師10人を対象に職長・安全衛生責任者（安責者）の再教育と、各分会の安全指導者10人に対し安全研修を実施。建災防本部セーフティエキスパートの小田銀治氏を講師に迎え、職務の復習やこれからのリスクアセスの方法、作業手順書の重要性などについて学んだ。



職長・安責者の職務として、作業手順書の作成、作業中の監督・指導、危険性・有害性の調査などのポイントを学んだ後、グループに分かれ、脚立作業や運搬作業における手順書の作成、リスクKYを実習。作業手順に不備はないか、どのような危険要因が考えられるかなど発表し、

問題点や改善点を話し合った。

今回の研修は、職長・安責者再教育のニーズに対応すべく全国の建災防支部に先駆けて実施。研修で使用したパワーポイントの資料は各分会に持ち帰り、安全研修等で活用する。

## 建災防安来

### ゼロ災運動展開

建災防安来分会（渡部義三分会長）は11月15日、労働災害防止大会を開き、分会員ら約80人が参加した。

渡部分会長が「災害はいつ起こるか分からない。一人一人が安全意識の向上を図り、事故のない明るい未来を築いていこう」とあいさつ。安全指導者として、長年にわたり労働災害防止活動に努めた2人に感謝状を贈ったほか、三大災害防止の徹底や安全衛生管理体制の確立、リスクアセスメントの確実な実施など大会宣言。参加者全員で無事故・無災害を誓った。

同分会では、三大災害等の増加が危惧される

年末年始から年度末に合わせ、11月21日から「建設業ゼロ災100日運動」を展開し、労災防止対策強化に取り組んでいる。

また、日刊建設工業新聞社取締役編集担当の内海豊氏が「建設業を取り巻く現状と課題、今後の展望」と題し講演。経済対策の主な内容や行政施策について話した。



## 建災防雲南

### 足場組立て技術学ぶ

建災防雲南分会（植田耕志分会長）は9月29日、足場の組立て等作業主任者能力向上教育を開催。能力向上教育に該当する研修会で、会員各社の技術者ら22人が受講した。

研修では、建災防県支部の渡部進専任講師が足場・部材の選択や管理、安全施工と保守管理について解説。また、災害事例から、考えられる発生原因を特定し、再発防止対策を考える



など実務に即した研修が行われたほか、坂上博巳建災防県支部安全部長による関係法令の講義もあり、受講者らは熱心に取り組んでいた。



**（財）建設業福祉共済団からのお知らせ**

# 育英奨学金後期分31,788,000円 260名に給付!!

**後期分260名に給付**

共済団は11月5日、平成22年度の育英奨学金の後期分（平成22年10月～平成23年3月まで）として要保育児16名、小学生72名、中学生57名、高校生55名、大学生等60名の計260名に対し31,788,000円を給付しました。

**育英奨学金制度とは**

この制度は、「社会有用の人材育成を通じ建設業の発展に資すること」を目的として昭和60年から実施され、現在までに奨学生の延べ人数は6,310人、累計給付額は11億3,474万円余となっています。

奨学金は、業務災害または通勤災害により、死亡、身体障害1～3級、傷病1～3級に該当し、建設共済制度の共済金支払い対象となった被災者の子に対して給付されるもので、保育期間および小学校から大学までの在学期間中、継続して給付しています。

なお、共済団の奨学金制度は他の奨学金制度との併用も可能で、返済は不要です。

◎給付額は以下のとおりです。

|    | 要保育児     | 小学生      | 中学生      | 高校生      | 大学生等     |
|----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 月額 | 12,000円  | 12,000円  | 16,000円  | 18,000円  | 39,000円  |
| 年額 | 144,000円 | 144,000円 | 192,000円 | 216,000円 | 468,000円 |

◎要保育児および奨学生の対象であるにもかかわらず手続きがお済みでない場合は、随時受付けておりますので共済団までご連絡下さい。

建設共済制度創設40周年を記念して切手シートのプレゼントキャンペーン実施中！  
詳しくはホームページをご覧ください。

資料請求や掛金試算もできます。ご利用ください。

URL→<http://www.kyousaidan.or.jp/>

◎お問い合わせは、下記までご連絡ください。

(財)建設業福祉共済団 TEL (03) 3591-8451

- 建設業界による自主的な共済制度で掛金が安い。
- 元請下請問わず無記名で補償。
- 元請下請それぞれの契約者へ重複支払い。
- 企業の諸費用部分も補償。
- 事業主(契約者)への速やかな支払い。
- 経営事項審査において15点の加点。

ココロをつなぐ

## 建設共済

法定外労災補償制度

安心支える、  
大きな力。



## 財団法人 建設業福祉共済団

(厚生労働省・国土交通省共管)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル

■ 取扱機関：(社)島根県建設業協会

〒690-0048 松江市西嫁島1-3-17-101

TEL0852-21-9004 FAX0852-31-2166

「建設共済」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは

Tel.03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/>